

通期の見通し

企業のIT投資は底堅く推移すると予想

今後、世界経済の停滞などにより国内景気が下押しされるリスクはあるものの、復興需要の他、政府による経済対策、海外経済の持ち直しによる輸出の回復などが見込まれ、国内景気は回復に向かっていくものと思われれます。

このような経済環境のもとで、国内企業はシステムの更新、Windows XPのサポート切れによる買い換え、タブレット等のモバイル端末の活用、節電対応と省電力機器の導入、データセンター利用などによるコスト削減や生産性向上が必要とされています。そのため、企業のIT投資は引き続き底堅く推移するものと予想されます。

お客様との接点を強化

このような経済状況や企業のIT投資動向に対する見通しを前提として、当社グループは地域密着型運営体制のさらなる強化のもと、お客様との接点を強化してワンストップソリューション、ワンストップサポートに磨きをかけ、複数の製品やサービスを組み合わせたパック商材を整備・拡充し、生産性向上、投資対効果、電力使用量削減効果の高いシステム提案を積極的に行い、当社グループの持つ総合力を今まで以上に発揮していきます。そして魅力あるオフィスサプライ商品の品揃え、企業活動の生産性向上や負荷軽減を支援する保守サービスメニューの開発など、ストックビジネスを強化し、お客様と安定的かつ長期的な取引関係を構築し収益基盤の充実を図ります。また、営業活動やサポート活動の継続的な改善により、一層の生産性向上を図っていきます。

2013年の方針と施策

スローガン

『お客様の目線で信頼に応え、ITでオフィスを元気にする』

ワンストップソリューション、ワンストップサポートに磨きをかけ、お客様接点を強化

ITニーズ、省エネニーズを顕在化させる

顧客深耕と新規開拓を並行して進める

総合提案、複合提案の推進

ストックビジネス強化

セグメント別の施策

システムインテグレーション事業では、企業のIT投資動向やIT活用ニーズを見極めながら、複写機、コンピュータ、FAX、電話機、回線等を組み合わせた複合システム提案や総合提案をさらに推進します。

サービス&サポート事業では、オフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」において、商材の拡充、プライベートブランド商品「TANOSEE」の充実等を図ります。また、サポート事業「たよれーる」において、システムインテグレーション事業での成果を保守等のサービス契約増につなげ、併せてハードウェアに依存しない新しいサービスを増やします。



<http://www.tanomail.com/>

通期の業績予想

通期の連結業績予想は以下の通りです。

売上高5,360億円(前年同期比3.9%増)、営業利益305億円(前年同期比8.0%増)、経常利益310億円(前年同期比6.6%増)、当期純利益180億90百万円(前年同期比11.1%増)。

セグメント別の売上高では、システムインテグレーション事業が3,009億60百万円(前年同期比3.8%増)、サービス&サポート事業が2,344億円(前年同期比4.0%増)、その他の事業が6億40百万円(前年同期比1.2%増)。

2013年2月1日に発表した連結業績予想に変更はありません。

売上高・利益計画

(単位:百万円)

	2012年 12月期	2013年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
売上高	515,771	536,000	+3.9%
営業利益	28,251	30,500	+8.0%
経常利益	29,079	31,000	+6.6%
当期純利益	16,277	18,090	+11.1%

セグメント別売上高計画

(単位:百万円)

	2012年 12月期	2013年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
システムインテグレーション事業	289,840	300,960	+3.8%
サービス&サポート事業	225,298	234,400	+4.0%
その他の事業	632	640	+1.2%